

新年あけましておめでとうございます。大寒を迎え、1年でも最も寒いといわれる時節となりました。

農園では蠟梅、梅、椿の花が春を告げています。年末から年明けにかけてこのほか寒さが厳しく、雪国からは大雪のニュースが舞い込んでいました。冬型の気圧配置が大きく影響したためとおもわれます。そのため、農園の畑はすっかり乾燥が進み、12月には学生たちがぬかるんだ畑で足元を泥だらにして収穫していましたが、年明けは霜柱の姿もまばらです。

学生たちが収穫を終えたサツマイモ畑は、土だけが広がっています。これから春に向けて、新しい主役を迎えるべく準備していきます。

また、一番花蕾の収穫されたブロッコリーは二番花蕾が寒さの中でも少しづつ成長しています。これから3月まで切り分けることなく食べられるような花蕾が収穫できます。お店に並ぶことはまずありませんが、家庭菜園などで作ればしばらく楽しめます。

農園に春の訪れを告げているものに落の臺もあります。まだまだ硬く、地表に張り付いています。しかし、晴れた日にはたっぷり日差しを浴び、成長します。春を感じつつ、口のするが楽しみです。

そのほかにもオオイヌノフグリ、ホトケノザ、ナズナなども寒さの中ながら小さな花をつけています。

